

シンポジウム S-5

魚類における個体レベルでの遺伝子改変研究の現状と展望

企画：吉崎悟朗（海洋大）

5月28日（日）13：00～16：00

13：00 開会の挨拶 吉崎悟朗（海洋大）

座長：吉崎悟朗（海洋大）

13：05

「プロテアーゼインヒビター遺伝子の導入による養殖魚の肉質改良の試み」

豊原治彦（京都大学）、家戸敬太郎（近畿大学）

13：35

「リゾチウム遺伝子導入による耐病系魚類の作出」

廣野育生、矢澤良輔、青木 宙（海洋大）

座長：青木 宙（海洋大）

14：05

「脂肪酸代謝酵素群遺伝子の導入による高EPA/DHA生産魚の作出」

吉崎悟朗（海洋大）

14：35

「大型魚類における遺伝子ノックダウン技法の開発」

Surinton Boonantanasarn（スラナリ工大）

15：05

「GFPトランスジェニックメダカによる血球の可視化とその応用」

丸山耕一（放医研・放防護セ・環境水域チーム）、井内一郎、安増茂樹

（上智大・発生）、石川裕二（放医研・放防護セ・環境水域チーム）

15：35-16：00 総合討論